

令和 7 年度版『伝え合う言葉 中学国語 2』年間指導計画・評価計画（案）

〔第 2 学年〕目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

凡例

ま	教科書記載のまなびリンク（二次元コード）の活用が有効なところ
教	P00 教科書の関連ページを参照
ICT	ICT の活用が有効なところ

2024 年 10 月

指導 時期	単 元	教材名	配 当 時 数 ()内は含 まれる領域 の時数	教材目標	学習活動の流れ * は学習活動の留意点	学習指導要領との対応		評価規準(例)
						知識及び 技能	思考力、判断力、 表現力等	
4 月	一	虹の足	1	- 情景を表す比喩や象徴、言葉などに注意して読む。 - 目の前に見えた「虹の足」から、隠れたその意味について考える。	1 ◎ 「学びナビ」を読み、「比喩・象徴」について理解する。「虹の足」などの比喩的な表現が表しているものを考えながら、感想を交流することをとおしてこの詩にこめられた作者の感動を読み取る。		(1)エ C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
		【話す聞く】 いろいろな立場や考えを踏まえる	話聞 1	異なる立場や考えを取り上げて、ニュースやできごとの紹介をする。	1 ◎ グループで、ニュースから話題を取り上げ、対話をする。複数の媒体などから調べ、さまざまな立場や考えがあることを押さえながら話し合う。 * 多様な媒体の中から、適切な情報を取り上げるよう気をつける。	ICT	(1)ア A(1)ア◎ A(1)イ A(2)ア	【知識・技能】 言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
		タオル	5	- 文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 - 登場人物の設定の仕方や人物どうしの関係を捉える。	1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「象徴」について理解する。全文を通して読み、登場人物やあらすじについて確認する。初発の感想を書き、読みの課題を整理する。	ま	(1)エ C(1)ア◎ C(1)イ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア

				2 祖父をめぐる人々の思いを捉え、祖父の人物像について考える。 3◎ 場面（前半部と後半部）ごとの「少年」の心情の変化と、変化の理由を考える。 4◎ 「涙」に着目して、少年の心情の変化を捉える。 5 「タオル」が果たした役割について考えをもつ。語り方の特徴とその効果について考え、感想をまとめる。				【思考・判断・表現】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
5 月	文法の小窓 1 活用のない自立語 文法（解説）1 活用のない自立語	2	● 活用のない自立語のはたらきを理解する。	1 ◎ P38『文法の小窓 1』を読む。名詞、連体詞、副詞の種類と用法について理解を深める。 2 ◎ 接続詞、感動詞の種類や用法について理解を深める。 *『文法の小窓 1』に戻り、しりとりで使える言葉のきまりを話し合いながら作る。		(1)オ◎		【知識・技能】◎ 単語の活用について理解を深めている。(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
	【書く】 新聞の投書を書く	書 5	● さまざまな情報の集め方を理解し、活用する。 ● 社会生活の中から題材を決め、材料を整理し、伝えたいことを明確にする。	1 目標を確認して 「学びナビ」を読み、「材料を収集する」 ことについて理解する。新聞の投書を書くための活動の流れを確認し、投書のテーマを決める。 2 ◎ P39 下段の図を参考にして、社会生活に向けた課題を設定し、多様な方法で材料を集め、伝えたいことを明確にするために集めた材料を整理する。 3 集めた材料から自分の意見に合ったものを用いて投書を書く。 4 自分の意見を振り返り、表現や構成に注意して、推敲する。 5 書いた文章を友達と読み合い、意見を交換する。	ま ICT	(2)イ	B(1)ア◎ B(2)ア	【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。

		漢字の広場 1 まちがえやすい漢字	1	似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	1 ◎ <u>似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深め、正しい字形で漢字を書く。</u>		(1)ウ◎		【知識・技能】◎ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
6月	二	日本の花火の楽しみ	3	- 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 - 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。	1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「読み比べ」について理解する。全文を通読し、キーワードを書き抜く。文章全体の問いと答えを探し出し、筆者の主張を捉える。 2 ◎ <u>理想の花火を目ざし「花火玉の構造」「理想の開き方・消え方」について、それぞれ職人が施している工夫をまとめ、筆者の論理の展開、表現や説明の仕方の工夫・意図を考える。</u> 3 筆者の考える日本の花火について、自分の意見をまとめて発表する。 *私たちの社会や日常生活の中で思い起こされる「日本の〇〇の魅力」について、文章にまとめる。	ま	(2)ア	C(1)ア C(1)ウ C(1)エ◎ C(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
		水の山 富士山	4	- 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 - 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。	1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「読み比べ」について理解する。全文を通して読んでキーワードを書き抜く。富士山に降った水の流れを整理する。 2 二つの問いと答えを、図を活用しながら理解する。 3 文章の構成を捉え、筆者が「水の山 富士山」という題名をつけたことに対して自分の考えを書く。 4 ◎ <u>『日本の花火の楽しみ』と比較し、構成や説明の仕方</u>	ま	(2)ア	C(1)ア C(1)ウ C(1)エ◎ C(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。

					<u>の違いについて自分の考えをもつ。</u>				
		【話す聞く】 課題を設定して伝える	話聞 3	- 情報の関係を踏まえ、根拠の適切さや論の展開に注意して話を構成する。 - 資料や機器などを用いて自分の考えをわかりやすく伝える。	1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「多面的に捉える」ことについて理解する。話題と提案内容を決め、意見と根拠を分けながら原稿メモを作成する。 2 ◎ <u>根拠の適切さや論理の展開などに注意して自分の立場や考えが明確になるように文章構成を決め、スピーチ原稿を作成する。</u> 3 互いの発表を聞き、構成や意見と根拠の的確さを確認し合う。	ま ICT	(2)ア	A(1)イ◎ A(1)ウ A(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。
		言葉の小窓 1 敬語 言葉（解説） 1 敬語	1	敬語のはたらきや特徴について知る。	1 ◎ P66『言葉の小窓 1』を読み、 <u>敬語のはたらきと用法について理解しつつ、日常生活で敬語を使う場面を思い起こしながら、グループ内で確認する。</u>	ま ま	(1)ア (1)カ◎		【知識・技能】 ◎ 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
		【書く】 手紙・メールを整える	書 5	- 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使う。 - 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。	1 目標を確認して手紙の用件を決め、形式など手紙を書く活動の流れを確認する。 2 手紙の形式を参考に構成を考える。 3 手紙の形式を踏まえて、下書きをする。 4 ◎ <u>読み手の立場に立って表現の効果などを確かめながら下書きを推敲する。</u> 5 下書きを友達と読み合い、指摘し合ったあとで清書する。封筒、はがきの書き方、電子メールの書き方を知る。	ICT	(1)カ	B(1)エ◎ B(2)イ	【知識・技能】 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ 【知識・技能】 敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。(1)カ 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を書いている。B(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。
7月	三	夢を跳ぶ	3（書 2）	自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選ぶ	1 ◎ 目標を確認して全文を通して読み、筆者の主張と例示との関係を整理しながら捉える。 <u>感想、関心をもったこと、調べてみたいことを箇条書きで書き出す。</u>	ま ま ま ま ま	(3)エ◎	C(1)ア◎ C(1)イ C(2)ウ B(1)ア B(2)ア	【知識・技能】 ◎ 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、

				び、自分の考えをまとめる。	2 前時に箇条書きで書き出した、感想、関心をもったこと、調べてみたいことを、グループで発表し、意見を交流する。そのうえで、自分の調べたいことを一つに絞る。 「みちしるべ」を読み、自分の考えをまとめるための方法と手順を確認する。 3 「みちしるべ」を参考に、さまざまな方法で集めた資料や情報を整理して、自分の考えをレポートにまとめる。	教 P86 教 P320 教 P326 ICT			主張と例示との関係などを捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。
	言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 言葉（解説） 2 話し言葉と書き言葉	1	● 話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。	1 ◎ P82『言葉の小窓2』を読み課題意識をもつ。「話し言葉と書き言葉」（P281～P283）を読み、話し言葉と書き言葉の違いを考える。 ＊リンの課題文の推敲に取り組む。	ま ま	(1)ア (1)イ◎			【知識・技能】 ◎ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
	【話す聞く】 相違点を明確にして聞く	話聞 4	● 情報の表し方を捉え、論理の展開に注意しながら聞く。 ● 話し手と自分の考えを比較しながら自分の考えをもつ。	1 ◎ 目標を確認して「学びナビ」を読み、「相違点を明確にする」ことについて理解する。身近な課題についてグループで意見を出し合い、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる。 2・3 問題解決に向けて情報を集めて自分の考えを整理する。 4 図やグラフを用いて発表し合い、発表の仕方について振り返りを行う。	ま	(2)イ	A(1)エ◎ A(2)ア		【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。A(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。
	SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	2（書1）	● さまざまな種類の文章を構成する情報を整理し、それぞれの特徴を理解する。 ● 文章の目的の違いを理解し、SNSの効果を考えたり、小説を	1 ◎ 目標を確認して『SNSから自由になるために』を読み、SNSの性質を知り筆者の主張を捉えインターネットでの表現のあり方について考える。 2 小説と脚本の違いを知り、任意の小説の一節を脚本に書きかえる。	ま ICT	(1)ア (2)イ	C(1)イ◎ C(2)ウ B(1)ア B(2)ウ		【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】 ◎ 読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。C(1)イ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア

				脚本に書きかえたりする。					【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章を比較するなどし、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。
		漢字の広場 2 漢字の成り立ち	1	● 漢字の成り立ちについての理解を深める。	1 ◎ <u>漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類する。</u>		(1)ウ◎		【知識・技能】 ◎ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
9月	四	持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味	3（話聞1書1）	● 持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。	1 目標を確認して、P96～98を読み、「最初の『問い』」を考える。 2 P99～101を読み、「次の『問い』」について話し合う。 3 ◎ P102～105「『ここにいる』を言う意味」「一〇〇年後のみなさんへ」を読み、「最後の『問い』」について話し合い、自分なりの考えを書く。	ま ま ま ま ま	(2)ア (2)イ	A(1)イ◎ A(2)イ B(1)ウ◎ B(2)ア C(1)エ C(1)オ◎ C(2)ア C(2)ウ	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。
		紙の建築	5	● 具体と抽象などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ● 事例の役割や効果を確かめ、得られた情報を整理しながら読む。	1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「事例と論の展開」について理解する。本文のあらましを捉える。 2 本文を読んで「学びナビ」のキーワードを抜き出し、文章全体の構成を理解する。 3 ◎ 本文における <u>事例の役割や効果を確かめながら事例と主張を関連づけ、筆者の行動とそれを支える信念を捉える。</u>	ま	(2)ア	C(1)ア C(1)イ◎ C(1)オ C(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。

					4 筆者の考えを踏まえながら、社会の中で働くことについて自分の考えを文章にまとめる。 5 文章にまとめたものをもとに社会の中で働くことについて話し合い、広い視野をもったり自分の考えを深めたりする。				
		【書く】 構成を明確にして説明文を書く	書 5	- 情報どうしの関係についてさまざまな表し方を理解し、活用する。 - 段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。	1 目標を確認して学びナビを読み、「構成を明確にすること」について理解し、多様な考え方が問題について題材を決める。 2 ◎ <u>意見と根拠を適切に示し、推論の道筋が伝わりやすい構成を考える。</u> 3 根拠の適切さを考えて具体例を示し、自分の考えが伝わる文章にする。 4 読み手の立場に立って、文章を整える。 5 読み手からの助言を踏まえ、自分の文章を振り返る。	ま ICT	(2)イ	B(1)イ◎ B(2)ア	【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。B(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
		文法の小窓 2 活用のある自立語 文法（解説） 2 活用のある自立語	2	用言の活用と種類・用法を理解する。	1 ◎ P120『文法の小窓 2』を読み、活用のある自立語について理解を深める。P294 の解説を参考に、 <u>動詞の種類や役割について理解を深める。</u> 2 P299 の解説を参考に、 <u>形容詞や形容動詞の活用や役割について理解を深める。</u>		(1)オ◎		【知識・技能】 ◎ 単語の活用について理解を深めている。(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
10 月	五	敦盛の最期	4	- 歴史的仮名遣いに注意し、文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。 - 登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。	1 目標を確認し『平家物語』冒頭を歴史的仮名遣いに注意して音読し、『平家物語』の中心思想を理解する。 2 『敦盛の最期』を歴史的仮名遣いに注意して音読し、登場人物を確認してせりふの主語を確定する。 3 登場人物の言動や心情について話し合う。 4 ◎ <u>記述を根拠にして登場人物の心情を読み取ったあと、</u>	ま ま ま	(3)ア◎ (3)イ	C(1)ア◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎ 歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C (1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く歴史的仮名遣いに注意して音読し、これまでの学習を踏まえ、作品の特徴を生かして朗読している。

					一人で、あるいは役割を決めて朗読し、作品世界を味わう。				
		随筆の味わい	3	- 歴史的仮名遣いに注意して、言葉の意味を正確に読み、作者の思いを想像する。 - 作者のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。	1 目標を確認し歴史的仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。 2 ◎ 『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。 3 ◎ 『徒然草』を読んで筆者の人間観を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。	ま ま ま ま ま	(3)イ◎	C(1)イ◎ C(1)オ C(2)イ	【知識・技能】◎ 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み理解したことや考えたことを説明しようとしている。
		二千五百年前からのメッセージ	3	- 音読をとおして漢文の表現に慣れる。 『論語』を読んで、孔子の考えを捉える。	1 目標を確認し書き下し文を音読したり暗唱の練習をしたり、また、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。 2 教科書の章句の中から一つ選び、そのよさについてワークシートに記入したうえで、話し合う。 3 ◎ 好きな孔子の言葉を他にも探して、『論語』の言葉で心に響いた表現や内容についての自分の考えを文章にまとめ、紹介し合う。	ま ま	(3)ア◎	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)イ	【知識・技能】◎ 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。
		坊っちゃん	2	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	1 ◎ 目標を確認して『坊っちゃん』を「作品解説」にある「自分語り」の観点から読み、作品の特色について意見を交流する。 2 さまざまな資料を参考にして近代の小説や物語を探し、内容紹介をする。	ま	(3)エ◎	C(1)ア C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで内容を解釈し、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。
六		短歌の味わい	2(書1)	- 情景や心情を表す言葉に注意して読む。 - 作品に描かれた固有の情景や心	1 ◎ 目標を確認して、「短歌の味わい」を読み、「短歌十首」の中から印象に残った短歌を選ぶ。	ま	(1)エ	C(1)ア C(1)イ◎ C(2)イ B(1)ウ B(2)ウ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ

				情のもつ意味を考える。	*選んだ短歌がなぜ印象に残ったのか、話し合う。 2 コラム「少しだけ変えてみる」(P172・173)を読み、 <u>描かれている情景や言動の意味を考え、作品の内容理解に大きな違いが生まれることを理解する。</u> 表現の違いによって描かれる世界に大きな違いが生まれることを理解する。 *コラムの内容を踏まえて、短歌を創作する。				【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。
11 月	夏の葬列	6	- 人物の心情や場面に応じた言葉の使われ方を理解する。 - 時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味を考え、作品を解釈する。	1 目標を確認して、「学びナビ」を読み、「時間と構成」について理解する。全文を通して読み、語句を調べながら、あらすじを把握する。 2 物語の展開を捉え、感想の交流をとおして読みの課題を設定する。 3 人物の心情の変化を捉え、それについて感想を交流する。 4 ◎ <u>主人公の人称の使い分けを比較し、その効果について話し合う。</u> 5 結末部分について考えを深め、話し合いをする。 6 物語の展開や表現の工夫がどのような効果をもたらしているか考える。	ま	(1)エ	C(1)イ◎ C(1)エ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。	
	映像作品の表現を考える	1	- 絵コンテを構成する情報を整理し、理解する。 - 漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。	1 ◎ <u>絵コンテの仕組みや特徴について知り、原作の漫画と絵コンテの違いを考える。</u>	ICT	(2)イ	C(1)イ◎ C(1)ウ C(2)イ	【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。	

		漢字の広場3 漢字の多義性	1	漢字の多義性についての理解を深める。	1 ◎ <u>漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表す。</u>		(1)ウ (1)エ◎		【知識・技能】 ◎ 多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
12月	七	ガイアの知性	6 (話聞1)	- 筆者が用いる語句の意味を捉える。 - 自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。	1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「推論」について理解する。全文を通読し、問題と主張の関係を把握したうえで、「鯨と象」と「人間」の二つの「知性」の対比構造を捉える。 2 第一大段落の二つの問題提起を捉え、第二大段落以降の解決に関わる重要語句を見いだす。 3 第二大段落「鯨や象」の「高度な『知性』」の実体を捉える。 4 第三大段落を読み、「攻撃的な知性」と「受容的な知性」の関係を捉え、筆者の提言・主張の妥当性について判断する。 5・6 ◎ <u>筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめる。</u>	ま	(1)エ	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)ア A(1)ア A(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで主張と例示の関係について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
		【書く】 確かな根拠をもとに意見文を書く	書5	- 意見と根拠など、情報と情報との関係について理解する。 - 適切な根拠を示して、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	1 目標を確認し、「学びナビ」を読んで「確かな根拠」について理解する。多様な考え方が問題について題材を決め、材料を整理する。 2 文章の構成を工夫する。 3 根拠の適切さや表現の効果を考えながら、自分の考えが伝わるように文章を書く。 4 ◎ <u>ペアで互いに書いた文章を読み合い、根拠の適切さや表現の効果を考えながら、文章を整える。</u>	ICT	(2)ア	B(1)ウ◎ B(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。

					5 グループでそれぞれが書いた文章を読み合い、よい点や改善点を見いだす。				
1月	八	学ぶ力	4	● 筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ● 構成や表現に着目し、理解したことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけて広げたり深めたりする。	1 目標を確認し、「学びナビ」を読み、「筆者との対話」について理解する。全文を通して読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。 2 全文を提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。 3 ◎ <u>筆者の主張から、自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。</u> 4 筆者の考えを踏まえて、小学校からの学びを振り返り、文章にまとめ、他者との交流をとおして考えを深める。	ま	(2)ア	C(1)エ C(1)オ◎ C(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
		【話す聞く】 さまざまな考えを踏まえ討論をする	話聞 5	● 出された情報からそれぞれの立場や考えの共通点や相違点を捉え話し合う。 ● 相手の立場や考え方などを尊重しながら結論をまとめる。	1 目標を確認し、「学びナビ」を読み、「さまざまな考えを踏まえる」ことについて理解する。話し合いの進め方を理解し、社会生活の中から話題を決め、想定される立場を考える。 2 グループ内で、異なる立場を設定し、役割を分担する。話題について、自分の考えを整理し、まとめる。 3・4 ◎ <u>話し合いの手順や留意点、評価の観点を確認する。グループで討論を行う。</u> 5 行われた話し合いについて、グループごとに振り返る。	ま	(2)ア	A(1)オ◎ A(2)イ	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。A(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
		文法の小窓 3 付属語のいろいろ 文法（解説） 3 付属語のいろいろ	2	● 付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	1 ◎ P239『文法の小窓 3』を読んで、 <u>助詞の違いによる印象や意味の違いを考えるとともに、P301 を読んで助詞の種類とはたらきについて理解する。</u> 2 P303 を読んで、 <u>助動詞の種類とはたらきについて確認</u>	ま	(1)オ◎		【知識・技能】 ◎ 助詞や助動詞などののはたらきについて理解を深めている。(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。

					し、「考えてみよう」に取り組み理解を深める。				
2月	九	豚	1	- 言葉のもつ意味やイメージに注意して読む。 - 言葉のもつイメージが詩の中でどう変化するかを考える。	1 ◎ 「学びナビ」を読み、「想像・イメージ」について理解する。 <u>自分の経験や知識と結びつけながら詩の言葉のもつ意味やイメージについて自分の考えをまとめて、詩のイメージをクラスで交流する。</u>		(1)エ	C(1)イ C(1)オ◎ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
		走れメロス	7	- 抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 - 登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「語り手の位置」について理解する。 2 全体の構成を捉えるとともに、第一場面、第二場面を音読し、状況（場面）設定や人物設定についてまとめながら自分の考えをまとめる。 3 第三場面、第四場面を音読し、できごとをまとめながら自分の考えをまとめる。 4 第五場面、第六場面を音読し、メロスとセリヌンティウスと言動や心情、ディオニスの変化を捉えながら自分の考えをまとめる。 5 各場面について考えたことをペアやグループで交流する。 6 人称の変化が作品全体に与える効果について話し合う。 7 ◎ <u>交流をとおして語り方の特徴を踏まえて読みをまとめ、自分の考えを広げたり深めたりする。</u>	ま	(1)エ	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。

3月		言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語 言葉（解説）3 類義語・対義語・多義語・同音語	1	● 日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。	1◎ P269『言葉の小窓3』の会話文をもとに、 <u>類義語と対義語の意味や特徴を理解する。</u> またP284の解説を読み、 <u>日常生活の中から集めた多義語や同音語を調べたり、考えたりして用法を知る。</u>		(1)エ◎		【知識・技能】◎ 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
		【書く】 「連作ショートショート」を書く	書5	● 表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ● 物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。	1 目標を確認し、「ショートショート」の特徴について知り、四人で一組になる。一人が「不思議な言葉」を考える。 2 表現を工夫しながら「連作ショートショート」を分担して書く。 3 グループで物語を合わせて読み合い、文章を整える。 4 他のグループと作品を交換して読み合う。 5◎ <u>感想を交流し、表現の工夫とその効果などについてよい点や改善点を教え合い推敲する。</u>	ま	(1)エ	B(1)オ◎ B(2)ウ	【知識・技能】 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に表現の効果を考え、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
		漢字の広場4 同音の漢字	1	● 同音の漢字についての理解を深める。	1◎ <u>同音の漢字について理解し、身のまわりの同音語を見つける。</u>		(1)ウ (1)エ◎		【知識・技能】◎ 同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

総時数 116 時間（うち、話すこと・聞くこと 15 時間、書くこと 30 時間）

※「月」は学習時期のおおよそのめやす。

※「配当時数」欄の（ ）内は、配当時数に占める「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時数。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。